

BLOOMS BURY WALK No.3

- UCL ロゴ
- UCL 周辺地図及び航空写真
- The Bartlett
- ラッセル・スクエア・ガーデン

UCL ロゴ



No.2 で紹介した UCL のメイン図書館 Wilkins (帽子のようなドーム) は大学のロゴにもなるようなシンボリックな建物です。ファイルを購入したので紹介します。

UCL 周辺地図及び航空写真地図

この周辺の地図と航空写真(入手できている範囲; 入手が難しいのではなく単にIHからだて電話回線なのでインターネット接続が遅いだけなので)を巻末に添付します。地理的なイメージがこれでおわかりいただけることと思います。

日本のような地図、例えば私が愛用しているミニミニマップ東京(昭文社)、これは非常にわかりやすく住所・番地さえわかれば迷うことなく目的地にたどり着ける、のような地図がこちらでは“London AZ”という名称で出版されている。住所の基となっているロンドン中の道路名称が地図上に細かく印刷されている。街角のニュースタンドでも手に入るほど一般的なロンドンの地図のようです。版の大きさがいくつかあり、また、大きな文字で印刷された版もありました。

先のとおり住所表示方法が道路を基準にしているので地図の表現が東京のそれと比較してやや歪に感じます。日本の住居表示は区画に番地と住所が付与されているのですが、ロンドンでは道路名が住所となり、道路にそって番地がふられています。したがって地図に通りの名称を入れるため道路幅員が広い道路ばかりの印象を受けます。また、通りの名称

が XXX Road, XXX Street, XXX Avenue, XXX Boulevard, XXX Broadway 等、頭は一緒でも後半の通りの用語が異なると全然違う場所ということになります。こういう不都合があるので地図の巻末には索引がしっかりあります。この索引は全体の 5 割以上の頁数を割いています。

The Bartlett

縁ありロンドンに滞在しているわけですが、私が在籍している The Bartlett School は下の写真にある Wates House という建物にあります。5 階が図書館になっており、B1-4F までは講義室やスタジオです。4 階が Planning 及び Construction



Management、それ以外が Architecture, Urban Design, European Spatial Planning などです。この他にも大学院施設として Centre for Advanced Spatial Analysis (CASA) というセンターが Torrington Place にあります。ここは GIS との関連で研究を進めているようです。要約すると The Bartlett は建築と都市計画(関連都市交通を含む)が主なコース内容です。



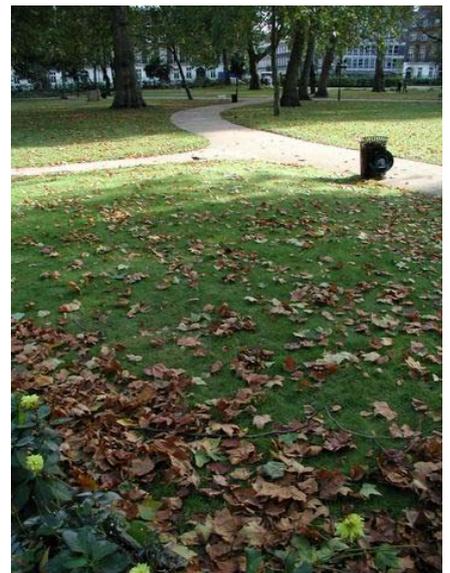
その他の交通関連としては、Centre for Transport Studies という Civil and Environmental Engineering の中に交通工学のコースがあります。このコースは Imperial Collage との Joint Program¹です。日本ではあまり聞きなれませんが UK 独自のフレキシブルな考え方の表れでしょうか。Web をみると日本の警察科学研究

No.3 October 20 2002
所? と何か共同研究をしているとか。ちなみに Imperial College は South Kensington にあります。

ラッセル・スクエア・ガーデン

毎朝このガーデンの横を歩いているのですが中へは頻りに足を踏み入れていません。ガーデンの中にはカフェがあり朝食やランチが取れるようになっています。天気の良いところでコーヒーを飲みながら時間を過ごすのが心地よさそう。そんなことが出来るのももう僅か、プラタナスの葉が青々とした冬芝を占有し始めています。

このガーデンは London Borough of Camden (ロンドン・カムデン特別行政区) Leisure and Community Service が管理しています。このようなガーデンは歴史的景観の重要性が公的に認識されており、English Heritage Grade II として登録されています。と案内板に説明がありました。



(ラッセルスクエアガーデン)



(左上がガーデン、その下が大英博物館)

¹ Graduate School Prospectus Year 2003-2004, University College London